

自己評価	B	
評価根拠	現状分析	具体的な取組の推進状況については、評価Cの項目（※1）が1つあるものの、そのほかは全て評価A又はBとなっている。また、昨年度より評価の上がった項目（※2）が3つあるなど、おおむね順調に推移している。
	評価理由	数値目標の進捗状況については、評価Cの項目（※3）が1つあるものの、そのほかは全て評価A又はBとなっている。また、昨年度より評価を上げた項目（※4）、評価を下げた項目（※5）が1つずつあるものの、おおむね順調に推移している。
昨年度評価	B	現状分析のとおり、具体的な取組の推進状況及び数値目標の進捗状況の両方について、改善の余地は残るものの、計画の達成に向けておおむね順調に推移していると判断したものである。
委員会評価	B	
評価根拠	現状分析	自己評価のとおり
	評価理由	自己評価のとおり

※1 さまざまな状況に対応する相談支援体制の確立

※2 必要な障がい福祉サービスの確保、所得保障、防災・防犯対策の推進

※3 職場体験事業の利用促進

※4 障がい児支援の提供体制の整備

※5 福祉施設入所者の地域生活への移行